

# 生活単元学習学習指導案

指導学年：高等部 第3学年

指導者：担任教諭（T1）

担任教諭（T2）

栄養教諭（T3）

## 1 単元名 「リッチな気分で晩ごはん」

## 2 単元について

### (1) 単元観

高等部第3学年知的障害単一障害学級の年間指導計画における生活単元学習の目標は、「(1) 家庭生活や社会生活について必要な情報を収集して理解を深め、生活の自立に必要な実践的な技能を身に付けることができる。(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善することで、課題を解決することができる。(3) 集団の中や様々な人々との関わりを通して、豊かな生活の実現に向けて生活を工夫し主体的、実践的に考えようとするすることができる。」の3点を設定している。(\*)

本単元は、卒業後の生活に必要な実践的な知識と技能の習得、学習した内容を実生活の中で生かすことができる力の獲得及び活用、食事を楽しむためにマナーを学習し、体験することで、卒業後の生活での余暇の活用について取り組む力の習得を目標としている。ここでは、生徒にとって楽しみである夕食を取り上げることで、食への理解や、卒業後の余暇の過ごし方をより充実させようとする態度を育むことができると考え、本単元を設定した。

(\*) 下線部については、各校の目標に基づいて記入する。

### (2) 生徒観

本学年の生徒は、給食時間において、食事の挨拶をすることや箸の持ち方や食器の並べ方、姿勢をよくして食べること、口に食べ物を入れたままおしゃべりをしない等、楽しく食事をするための基本的なマナーについて日々学習し、実践している。しかし、ナイフやフォークの使い方等、西洋料理のテーブルマナーについては、学習したり日常生活で経験したりする機会も少なく、十分な知識や技能が身に付いていない。

### (3) 指導観

第1次では、単元全体の学習予定を示し、学習への課題意識や見通しをもたせ、主体的に学習することができるようにする。

第2次では、1年次の「元気にスタート朝ごはん」、2年次の「エナジーチャージ昼ご飯」で学習した内容を振り返るとともに、日頃の食生活について考え、食事の役割、とりわけ夕食のもつ役割についての学習を深めるようにする。そこで、夕食の役割や、食事マナーの必要性、ナイフとフォークの使い方やスープの飲み方等の西洋料理の基本的なテーブルマナーについての知識や技能を習得させるとともに、テーブルマナーへの興味・関心を高め、主体的にマナーに基づいて食事をしようとする意欲をもたせたい。また、会食を楽しむための西洋料理の基本的なテーブルマナーである、ナイフとフォークの使い方、ナプキンの使い方、スープの飲み方、パンの食べ方について、実践を交えた指導を行い、生徒の主体的な活動を促したい。

第3次、第4次では、学校給食を活用しながら、実践的なマナー実習を行うことで、基本的な食

食事マナーや、西洋料理のテーブルマナーについての知識や技能の習得を図る。

(\*) 下線部については、各校の指導計画に基づいて記入する。

### 3 単元の目標

- 家庭生活で使用する道具等を効率的に使用したり、安全や衛生に気を付けて作業したりし、卒業後の生活に必要な実践的な知識と技能を習得することができる。(知識及び技能)
- 学習した内容を実生活の中で生かすことができる。(思考力、判断力、表現力)
- 食事を楽しむためにマナーを学習し、体験することで、卒業後の生活での余暇の活用について取り組もうとすることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

### 4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○食事の役割やマナーを理解している。 ○食事マナーを守ってナイフやフォーク等を使っている。	○楽しく会食するための食事マナーの大切さについて考え、表現している。	○楽しく会食するための食事マナーに関する学習活動を通して、よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫したり、実践したりしようとしている。

### 5 指導計画 (全 15 時間)

- 単元の概要説明 (1 時間)
- 食事の役割とテーブルマナー (5 時間) 【本時 2 / 5】
- マナー実習① [給食] (3 時間)
- マナー実習② [外食又はデリバリー] (3 時間)
- まとめ (3 時間)

### 6 本時の目標

楽しく会食するための西洋料理のテーブルマナーについて理解し、食事マナーを守ってナイフやフォーク等を使うことができる。

### 7 食育の視点

- 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。(社会性)

### 8 準備物 (教材・資料)

フォーク、ナイフ、皿、料理の写真、ナプキン等、ワークシート

9 本時の展開

	学習活動 ・予想される生徒の反応 (行動・発言等)	◇指導上の留意点 ◆支援を要する生徒への手立て		評価規準 (評価方法)
		T 1	T 2	
導入	1 挨拶をする。	◇姿勢よく挨拶をするように促す。		
	2 本時の学習内容を確認する。	◇本時の予定を確認し、目標を提示する。		
楽しく会食するための西洋料理のテーブルマナーを知ろう。				
展開	3 楽しく会食するための西洋料理のテーブルマナーを実践する。 ・ナプキンの使い方 ・スープの飲み方 ・パンの食べ方 ・ナイフとフォークの使い方	◇ワークシートを用いて、楽しく会食するための西洋料理のテーブルマナーのポイントを説明する。 ◆個々の活動状況に応じて支援を行う。	◇それぞれのテーブルマナーについて、①まず、自分で考えてやってみる。②正しいマナーについて栄養教諭の話聞く。③再度実践する。の流れで、実演を交えて助言する。	○楽しく会食するための西洋料理のテーブルマナーについて理解し、食事マナーを守ってナイフやフォーク等を使うことができる。【知識・技能】(行動・ワークシート)
終末	5 学習を振り返り、本時のまとめをする。		◇マナーを守って食べることは大切だが、分からないことは周りに聞く、できないことは無理せず伝え、楽しく食べることが大切であることも確認させる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     生徒のまとめ例                      ・ナプキンの使い方、スープの飲み方、パンの食べ方は、よく分かりました。ナイフとフォークの使い方は、まだ難しいことがあります。食事をするときに、分からないことやできないことがあれば周りの人に伝えて、楽しく会食をしたいと思います。                 </div>			
	6 挨拶をする。	◇姿勢よく挨拶をするように促す。		

楽しく会食するための西洋料理のテーブルマナーを知ろう。

- ① ナプキンの使い方 ② スープの飲み方 ③ パンの食べ方 ④ ナイフとフォークの使い方

ナプキンの  
使い方のイ  
ラスト(食事  
中・食後)

スープの飲み  
方や飲み終え  
たスプーンの  
置き方のイラ  
スト

パンの食べ方  
のイラスト

ナイフとフォーク  
の使い方や置き方  
(食事中・食後)の  
イラスト